

IT時事ネタキーワード「これが気になる！」(第48回)

AWS障害。原因はサーバーの過熱

2019.09.13

「AWS」とはAmazon Web Servicesの略で、Amazonが提供するクラウドコンピューティングサービス(ウェブサービス)。サービスは全世界で18の地域に提供され、クラウドサービスのジャンルで世界シェアは30%以上で世界第1位(2018年時点)。2位のMicrosoft Azureを大きく引き離す。もちろんAmazonの小売り関係のサイトは、すべてAWS上で動いている。



最近多くの企業が利用するAWSの公式サイト。簡単に始められる、1年間の無料試用が可能など、魅力的なコピーが並ぶ

AWSは優秀でコストもよく、多くのWebサービスやゲームがAWSで動いている。AWSのサイトを見ると、クラウドストレージや仮想サーバー、データベース、監視システム、IoTや人工知能・機械学習など、サービスは多岐にわたる。AWSは2011年に日本でデータセンターを開設して以降、国内での顧客を増やし、現在、数十万件の契約があるという。

去る8月23日の12時36分(日本時間)から数時間にわたり、AWSのサーバー設置エリア(リージョン)の1つである東京で大規模な障害が発生した。[Amazonの発表](#)によれば、障害は東京リージョンの4つあるデータセンターの1つで起こった。空調設備の管理システムに障害が発生し、一定数のサーバーがオーバーヒートで停止した。冷却装置は15時21分に復旧。18時30分には大部分のサーバーが復旧したが、一部、回復に時間がかかったものもあった。すべてが復旧したのは22時過ぎ、障害は約9時間半にわたった。

PayPayやSNSがストップ… 続きを読む